

- ① 基礎知識を得る……6人
- ② 最新の情報を得る……4人
- ③ 身体拘束ゼロに向けての取り組み……6人
- ④ シーティングについて知る……29人
 - ・ どのように現場に取り入れていくか……2人
 - ・ 留意点……1人
 - ・ 調整方法……2人
 - ・ 全体・基本……13人
 - ・ 実習・実技……6人
 - ・ 用具・道具……4人
 - ・ 座位力学……1人
- ⑤ 車椅子について知る……27人
 - ・ 基礎知識……1人
 - ・ 選択・調整方法……7人
 - ・ モジュール式(セミモジューラーも含む)……8人
 - ・ 座面、機能性への関心……1人
 - ・ スライティングボードの活用……3人

- ・ 快適に座ってもらう方法を得る(安楽な座位保持)……6人
- ・ 高齢者に優しい車椅子……1人
- ⑥ 福祉用具(体験・使用法・現状・今後の取り扱い・課題)……3人
- ⑦ 住宅改修に役立てる……1人
- ⑧ 実際どのように対応すれば良いかを知る(現場に生かせる知識)……2人
- ⑨ スタッフの研修に役立つものを探し求めて……1人
- ⑩ やる気介護研究会に興味を持って……1人
- ⑪ 実技を中心とした講義……1人
- ⑫ 介護負担を減らす……1人

3-2. それは満たされましたか？

- ① 大変満足・満足・参考になった……32人
 - ・ 情報を得た……4人
 - ・ 問題点や解決方法が分かった……5人
 - ・ 満足・参考になった……15人
 - ・ トランスファーの方法の指導が良かった……1人
 - ・ 座ることの大切さを知った……3人
 - ・ わかりやすい説明だった……4人
 - ・ 比較できて良かった……1人
- ② まあまあ……4人
 - ・ まあまあ満足……1人
 - ・ 基礎は良く分かった……2人
 - ・ 初回としては満足……1人
- ③ もっと知りたい……6人
 - ・ もう少し詳しく測定・評価法を学びたかった……2人
 - ・ もっと深く知りたい……1人
 - ・ 色々なケースにあわせての調整だったらもっと良かった……1人
 - ・ 調整についてもっと応用してみたかった……1人
 - ・ 研究会に入りもっと学んでいきたい……1人
- ④ 繰り返しが必要だと感じた……1人
- ⑤ 現実を改めて知らされた。もう少し工夫が必要だ……2人
- ⑥ トランスファボードが印象的だった……1人
- ⑦ スライディングボード等の活用があったが、現状では活用する場等に余裕がない
……1人

4. 研修会の評価(5点満点)

- 5……34人
- 4……51人
- 3…… 5人
- 2…… 1人

1……0人

無回答……9人

平均……約4.3点

5-1. 当研修会への感想

① 良かった……34人

- ・ 体験できた……7人
- ・ わかりやすかった……7人
- ・ 参考になった……7人
- ・ 情報を得た……1人
- ・ グループ分けして各項目を研修できた……1人
- ・ 他職種参加のところ……4人
- ・ 講義＋体験、直に質問できる形式……1人
- ・ シーティングに興味を持つきっかけになった……1人

② 時間が足りない……6人

- ・ 盛りだくさんで大変……2人
- ・ もう少しゆっくり説明を聞きたかった……2人
- ・ 頭に入ることが限られ、ごく一部しか理解できなかった……1人
- ・ 内容が短かった……1人

③ もっと知りたい……3人

- ・ どこの長さをどう合わせるか等、詳しく学びたい……1人
- ・ 実際にこんな症例の人はこの車椅子が良い等見たかった……1人
- ・ もう少し深い内容でも良かった……1人

④ これからのこと……11人

- ・ 勉強会等を開きたい……1人
- ・ 現場にも新しい介護技術を取り入れる必要性を感じた……1人
- ・ インターネットテキストに興味を持った……1人
- ・ 介護保険の中でも最適な適合を目指し、常に改良していく……1人
- ・ 制度上の変更を見ながら普及を図る必要がある……1人
- ・ 良いものをきちんと生かしていけるようなシステム作り、知識をつけていかなければならない……1人
- ・ 今までいかにあるもので間に合わせていたか反省……1人
- ・ 身体拘束に関して、現場と比べて考え直す必要がある……1人
- ・ 入居者が快適に過ごせるよう、スタッフが考えてケアをしなければならないと再確認……1人
- ・ ベッド柵等での拘束をせず、床に寝転がせておくことに問題がないかどうかにもこだわりたい……1人

⑤ こんなにたくさんの人が参加するとは思わなかった……1人

⑥ 大変興味のある活動をしていると思った……1人

⑦ 医療・介護・福祉・メーカー等、様々な参加があって良いのでは……1人

⑧ 駅での案内など大変行き届いていた……1人

5-2. 当研修会への要望

① 情報がほしい……7人

- ・ 他施設での取り組み……2人
- ・ 最新情報……2人
- ・ 普通型車椅子で可能なシーティング方法。又、クッション等の作製方法……1人
- ・ 低コストで行える福祉用具・自助具の利用実践例の掲示……2人

② 研修について……20人

- ・ 機会を増やしてほしい……1人
- ・ 実技を増やしてほしい……7人
- ・ 講義を増やしてほしい……3人
- ・ レベルを分けてほしい(EX.介護職レベル、初・中・上級等)……4人
- ・ もっと事例を多くしてほしい……3人
- ・ もっと詳しい説明がほしい……2人

③ 指導に来てほしい……1人

④ 今後も教えて頂きたい……1人

⑤ 次の機会に次の段階をまた勉強したい……1人

⑥ 車椅子がその人に合っているか頻繁に見直し、職員にシーティングの知識を伝える……1人

6-1. 研修会を終えて、明日からあなたの現場で実行できること、役立つことがありましたか？それはどのようなことでしたか？

① 移乗……15人

- ・ 参考になった……8人
- ・ スライディングボードを活用したい……7人

② 補助具……26人

- ・ 座位補助具(クッション等)の検討、活用……18人
- ・ 普及、利用者への選択肢を増やす……6人
- ・ 参考になった……2人

③ 車椅子……22人

- ・ 調整、見直し……6人
- ・ 座位の見直し……12人
- ・ 座位の重要性がわかった……2人
- ・ モジューラー型車椅子の普及……2人

④ 伝達……17人

- ・ 他の職員、他職種への伝達……5人
- ・ 上部への交渉……1人
- ・ 研修、教育、指導……9人

- ・ 利用者への伝達……2人
- ⑤ 意識の転換……5人
- ⑥ 就職後に活用できるよう知識として蓄える……1人
- ⑦ 福祉用具の使い方を実際にやって良かった……1人
- ⑧ 身体拘束をなくす……2人
- ⑨ 具体的には分からないが、できることから……3人
- ⑩ リフティングの技術……1人

7. やる気介護研究会では、プロの介護職を支え、これからの介護を変えていくために、活動しています。もうすぐ縛らない介護をすすめるためのインターネット版教科書が完成します。ご期待やご要望があればお書きください。

- ① インターネット(ホームページ)について……10人
 - ・ 見たい。期待している……5人
 - ・ インターネット版教科書がほしい……1人
 - ・ パソコンがないので書籍にしてほしい……1人
 - ・ クッション等の関連分野にリンクしてほしい……1人
 - ・ ブックマークの登録をしたい……1人
 - ・ ネット上で介護研修ができると面白いのでは……1人
- ② 期待、応援している……8人
- ③ 研究会に入りたい(新潟)……1人
- ④ 事例を紹介してほしい……10人
 - ・ 介護者の心情、精神状態、クライアントの表情を入れてほしい……1人
 - ・ 写真を使ってほしい……1人
 - ・ 多くの事例を参考にしたい……5人
 - ・ 事例者、科学的根拠等の情報がほしい……1人
 - ・ 先天性疾患の人についても含めてほしい……1人
 - ・ 施設、在宅で良かったこと、アドバイス等も含めてほしい……1人
- ⑤ 意見交換・情報交換の場がほしい……2人
- ⑥ 福祉用具について……4人
 - ・ 拘束帯ではない機能的なベルト・ストラップの使い方等の情報を紹介してほしい……2人
 - ・ 購入は高くつくので、手軽にレンタルできる方向に向かってほしい……1人
 - ・ 新しい用具、考え方の紹介……1人
- ⑦ 教科書……5人
 - ・ 午前中にあった動く映像はイメージしやすい……1人
 - ・ シーティングだけでなく、利用者をその気にさせる介護を……1人
 - ・ 移乗の技術を教えて……1人
 - ・ 教科書を紹介したい……1人
 - ・ 理想と現実を読み取れる内容に……1人
- ⑧ 移乗時に、患者の能力を考えて介護を行ってもらえたらと思う……1人

- ⑨ 共通する協会の考え方を踏まえた上で完成させてほしい……1人
- ⑩ 午前最後のビデオで、移乗の最後に体幹を反対に傾けて、より深く座らせる方法を入れず、技術者として不完全……1人
- ⑪ すぐに縛らない介護を模索中。日々継続、チームの実力向上が求められている……1人
- ⑫ 今までの介護でだめなことを早く対応したい……1人
- ⑬ 在宅へ戻れる意識を高める内容を作してほしい……1人
- ⑭ 実際の実技面、現場での悩み、考え方、一人一人の介護職を支援できる内容にしてほしい……1人